

たくま 逞しい法曹と弁護士会を創る

— 2016年度会長の就任にあたって —

東京弁護士会会長 小林 元治

2016年度会長に就任いたしました。副会長、監事、常議員と心をつにして、市民からの期待に誠実にこたえと共に、会員の皆様のための会務運営を行って参りたいと考えています。

弁護士・弁護士会を取り巻く環境は厳しく、法曹養成や憲法と平和への取組など、いま、多くの課題に直面しています。私は、約7800名という多くの会員を擁する東京弁護士会の会長として弁護士自治を堅持し、弁護士が誇りと使命感を持って社会に貢献できるよう、会務に全力を尽くしたいと考えています。

◆ 法曹養成制度改革

昨年、法曹養成制度改革推進会議で示された大きな方向を踏まえて、東弁としても司法修習生への経済的支援（給費制）、弁護士の活動領域拡大に取り組みます。領域拡大は若手会員対策でもあり、予算付を含めて具体的な取組が必要です。

◆ 民事司法改革

利用しやすい民事司法を実現することは、利用者の視点に立って是非とも推進しなければなりません。証拠法制、判決執行、法律扶助改革、提訴手数料の定・低額化、行政訴訟改革など、東弁でも取り組みます。

◆ 司法アクセス

法律扶助の償還制から給付制の検討、新たに開発された権利保護保険への対応も必要です。刑事の取り調べの可視化や被疑者弁護第3段階のための刑訴法改正の実現や弁護人の立会権、被疑者・被告人国選弁護報酬改定に向けて、東弁としての取組も必要です。

◆ 人権課題

現在、我が国では消費者、高齢者、障がい者、女性、子ども、犯罪被害者、外国人、性的マイノリティなど

様々な人権課題が発生しています。弁護士会として声を挙げて、問題の監視と必要な改善措置を果敢に取って参ります。近時増え続ける児童虐待は社会問題化しており、弁護士の役割としても子ども手続代理人の拡充やその報酬国費化への取組も必要です。

◆ 弁護士不祥事対策

弁護士による重大な不祥事は、市民の信頼を失い、弁護士自治を危うくします。市民窓口や非弁提携などの情報を早期に生かして未然防止や事前公表による被害拡大を防ぐことが必要です。再発防止のための倫理研修などの会員サポートもしていかなければなりません。ここ数年で懲戒申立件数が大幅に増加している現状に鑑み、迅速で効果的な体制を取るため、綱紀囑託などの人的整備も必要です。

◆ 若手会員支援

一般と特別会計の全体を分析し、管理費の削減や若手会員の経済的軽減策について、財政問題検討チームを組織して検討します。OJT法律相談の実施策も検討します。なお、赤字予算・黒字決算という長年の会計状況を改めるべく5月の定時総会予算までの間に前年度理事者と併走して事業計画を裏付け、会務執行を統制する予算となるよう努めます。

◆ 安政法制と憲法改正

いわゆる新三要件のもとに集団的自衛権を認める安全保障関連法案はこれまで政府が確立した解釈を覆し、憲法解釈の限界を超え、立憲主義に反するといわざるを得ません。恒久平和主義を根底から覆すような憲法改正には反対です。今後もシンポジウム、学習会などを継続し、警鐘を鳴らす取組が必要です。

会員の皆様のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

2016年度の役員に

誌上インタビューを行いました。

1年間よろしく願いいたします。

質 問

- ① 一番関心のあることは何ですか？
- ② 一番大切にしていることは何ですか？
- ③ 長所・短所、趣味は何ですか？
- ④ 座右の銘は何ですか？

この国のかたち～司法と弁護士の使命

会長 小林 元治 (33期)



- ① 戦後、軽装備、経済発展で突き進んできた日本が享受している平和と安全が、憲法の大きな枠組みを変えなくては護れないのか。大きく変わりつつある日本の現実の中で司法と弁護士の役割を考えざるを得ません。
- ② 信頼と信義、そして敬愛の気持ちです。事をなすには信頼できる仲間と相手も必要です。真心を持って誠実に行動して信義を重んじる。

それには相手を尊敬し、親しみの気持ちを持つことが大切だと思います。

- ③ 長所は辛抱強いことでしょうか。短所は時に我が意を伝えんと欲し、反発を買うことでしょうか。趣味は下手な囲碁とゴルフ、ピアノ曲を聴くことです。
- ④ 「人事を尽くして天命を待つ」「畏天敬人」

未来を担う人のために

副会長 谷 真人 (42期)



- ① 弁護士会を日本一のシンクタンク、人権擁護NPOにすることに関心があります。コップの中の争いをしているはいけないと思います。混沌の時代に、憲法の示す価値の実現を弁護士が社会に示すべきときではないかと思います。
- ② 相手の立場に立つということです。正義は人の数程あると思います。相手の立場も尊重しつつ彼我のベストバランスを見出したいと思っています。

- ③ 長所は陽気なこと、短所はだじゃれが過ぎること、趣味は料理、ゴルフ、食歩きです。
- ④ 座右の銘は「どうせやるなら楽しく」です。社会の様々な出来事には色はついていないのであって、色をつけている（評価をしている）のは自分の心です。だからいつも出来るだけ楽しい色をつけたいと思っています。

未来のために 一歩ずつ進む

副会長 芹澤 眞澄 (43期)



- ① (1)若手、女性など世代や状況が異なる会員それぞれが活躍するために弁護士会が行うべき取り組みは何か、(2) 弁護士が市民からの信頼を得るために弁護士会は今何をすべきか、(3) 安全保障関連法の廃止などに向けた取り組み。
- ② 真心をもって人に接することと自分を律すること。
- ③ 長所は物事に一所懸命に取り組むこと、

短所は自分の限界に気づかず無理をすること。趣味は身体を動かすこと（ジムでの筋トレなど）と休日に簡単な料理を何種類もつくること。

- ④ 「この一球は絶対無二の一球なり。されば心身を挙げて一打すべし。この一球一打に技を磨き体力を鍛え精神力を養うべきなり。この一打に今の自己を発揮すべし。」中・高とテニスをしていたので、好きな言葉です。時間を大切に悔いなく生きてと思っています。

叡智を集めて 身近な司法の実現へ

副会長 成田 慎治 (43期)



- ① 優秀な若手法曹の育成・支援です。そのために司法修習生に対する給費等の経済支援やOJTのより積極的導入、活動領域の拡大などを目指して努力していきます。
- ② 「思いやり」です。相手の立場に立って物事を考えることであり、人として大切であると同時に、当事者間の紛争を解決する法曹の素養

としても重要であると思います。

- ③ 明るく、楽観的なところが長所で、つい調子に乗りすぎるのが短所です。
趣味は、身体を動かすこと、読書、音楽鑑賞等です。
- ④ 好きな言葉は「一步前へ」です。困難な状況でも立ち止まらず突き進みたいです。

より良い法曹養成制度の実現を

副会長 仲 隆 (44期)



- ① ロースクール制度の在り方です。ロースクール非常勤講師をした経験から、予備校と独学で勉強していた旧司法試験の時代と異なり、ロースクール制度は、多様なバックグラウンドをもった学生が、実務家教員を取り入れながら、大学院における法教育という形で学んでいくという点において、人間性豊かな法曹実務家を養成して市民に身近で利用し易い司法を実現するという理念を実現してゆくものと感じています。ただ、予備試験制度との関係、ロース

クールの統廃合の問題など大変難しい問題を抱えています。弁護士会だけで取り組める問題ではありませんが、ロースクール制度の理念を損なうことのないような法曹養成制度が確立することを期待しています。

- ② 健康第一です。
- ③ 長所は弁護士の仕事が好きなことです。短所は特にありません。趣味は散歩です。
- ④ 「和をもって貴しとなす」

未来を託せる弁護士会を

副会長 鍛冶 良明 (44期)



- ① 弁護士自治です。弁護士の不祥事が多発する中、大手新聞社が1面でこの問題の特集しました。安全保障関連法案等で、独立した立場から信念に基づいて断固たる立場を貫く弁護士会へのけん制も受け取れます。今、弁護士会の自浄作用が試されようとしています。
- ② 人とのつながりです。今の自分があるのは人とのつながりの賜物だと思いますし、これからも出会った方々の魅力を吸収しながら成長して

いきたいと考えています。

- ③ 趣味はゴルフ、短所はゴルフが下手なこと、長所は下手なゴルフをあきらめずに続けていることです。それから、グルメではありませんが、単純に飲食が大好きです。
- ④ ならぬ堪忍ですが堪忍です。もう駄目だと諦めかけたときの、あと一步の辛抱を後押ししてくれる言葉だと思います。

会員とともに歩む弁護士会に

副会長 佐々木 広行 (48期)



- ① 東弁の会運営に関する若手会員の意見です。
- ② “素直に生きる”ということでしょうか。
- ③ 自分自身の長所・短所というものにはよくわからないものです。この原稿を書くために、秘書に“私の短所を指摘してくれないか？”と聞いたら、静かな声で“特にないと思われそうです。”といわれ、苦笑いされました。次に、“私の長所も指摘してくれないか？”と聞いたら、

室内を沈黙が支配しました。どうやら短所のほうが多そうです。

最近の趣味は覚えての囲碁です。頭の体操によいかなと思い、初級者用の詰碁などを行っています。

- ④ 最近、父にいわれた次の言葉を肝に銘じております。“われわれは同じ田園の中で生きている。他者に寛容であれ。”

会員や市民から信頼される弁護士会を目指して

監事 村田 智子 (48期)



- ① 一番関心があるのは会費の問題です。弁護士自治を守りつつ、社会や市民の要請に応え、各会員の負担を重くしないためにはどうすればよいのか、日々精査し、考えていきたいと思っています。
- ② 自分が「生きている」のではなく「生かされている」ということです。言い換えれば、すべてのものへの感謝です。実際にはつつい忘れてしまうのですが…。
- ③ 長所は、特にないような気がしますが、しい

ていえば何でも美味しくいただけることでしょうか。短所は、短気なことです。この1年間、長所はほどほどに、短所は封印したいと思いません(笑)。趣味は犬の散歩です。朝は、料理上手な夫に朝ごはんの準備を任せ、1時間くらい散歩しています。

- ④ 「九転び十起き」です。これは、NHKの連続テレビ小説「あさが来た」の主人公の座右の銘ですが、同じ女性として、あの強さと明るさに心惹かれます。

適正な会費額の検証を続けます

監事 菅沼 真 (50期)



- ① 監事の立場として関心があるのは、やはり、会費問題です。東弁の財務に関して、多くの会員が気になっている問題だと思いますので、適正な会費額について、検証を続けていきたいと思っています。
- ② 人との出会いや縁です。弁護士という仕事柄、やはり、人づきあいは欠かせませんし、人との出会いや縁を大切にしよう心がけているつもりです。
- ③ 長所は、簡単には諦めない粘り強さだと思っているのですが、ある人に言わせると、諦めが

悪いとか切替えが遅いということなので、長所と短所が表裏一体となっているようです。趣味は、旅行です。弁護士登録直後は、早めにリタイアして、世界一周旅行に出ることを密かに目論んでいましたが、現実…厳しいです。

- ④ 座右の銘ではありませんが、「勝ちに不思議の勝ちあり 負けに不思議の負けなし」という言葉が好きです。仕事が上手くいかなかった時など、この言葉を思い出して、原因がどこにあったのか、冷静に考えるようにしています。

2016年度 常議員 (80人)

福原 弘	大森 夏織	藤本 慎司	藤野 高弘	中川 勝之	贄田健二郎	丸山 高人	岡野 真之
森田 太三	中嶋 公雄	永井 健三	青井 慎一	篠崎 歩	吉田 直可	井上 圭	鹿島 裕輔
野々山哲郎	山崎雄一郎	馬場 寛子	遠藤 きみ	櫻谷 典男	後藤 健夫	大澤 一隆	秀島 晶博
武内 更一	花崎 浜子	田原 緑	伊藤 英徳	中根 敏勝	福本 朝子	川原奈緒子	和賀 公紀
庄司 克也	古澤 昌彦	中川 素充	岡田耕次郎	阿部栄一郎	河村 洋	恩田 俊明	菊間 龍一
森 徹	松阪 健治	崔 宗樹	渡邊 迅	正田 光孝	浅田 修司	酒田 芳人	板倉 武志
佐藤 貴則	湊 信明	隈部 泰正	鈴木 啓史	大栗 悟史	高橋 辰三	佐藤 元	井上 裕貴
中村 忠史	鈴木 敦士	美和 薫	松本甚之助	川崎健一郎	黒澤 真志	大沼 竜也	桜井 祐子
中島 彰彦	秋山 里絵	鎌竹 昌利	田中 貴一	本多 貞雅	山崎 悠士	濱田 六法	久保 俊之
渡辺 彰敏	長谷川浩一	熊谷 吏夏	寺島 英輔	畠山 慎市	西尾いづみ	安藤 俊平	二階堂郁美

2016年度 日弁連代議員 (80人)

福原 弘	仲 隆	湊 信明	美和 薫	田中 貴一	畠山 慎市	丸山 高人	岡野 真之
森田 太三	鍛冶 良明	鈴木 敦士	熊谷 吏夏	寺島 英輔	贄田健二郎	井上 圭	鹿島 裕輔
野々山哲郎	渡辺 彰敏	秋山 里絵	藤野 高弘	中川 勝之	吉田 直可	川原奈緒子	秀島 晶博
武内 更一	大森 夏織	藤本 慎司	青井 慎一	篠崎 歩	後藤 健夫	恩田 俊明	和賀 公紀
庄司 克也	中嶋 公雄	永井 健三	遠藤 きみ	櫻谷 典男	福本 朝子	戸田 順也	菊間 龍一
森 徹	山崎雄一郎	馬場 寛子	伊藤 英徳	中根 敏勝	河村 洋	酒田 芳人	板倉 武志
佐藤 貴則	花崎 浜子	田原 緑	岡田耕次郎	阿部栄一郎	浅田 修司	佐藤 元	井上 裕貴
成田 慎治	佐々木広行	中川 素充	渡邊 迅	正田 光孝	高橋 辰三	大沼 竜也	桜井 祐子
中村 忠史	古澤 昌彦	崔 宗樹	鈴木 啓史	大栗 悟史	西尾いづみ	濱田 六法	久保 俊之
中島 彰彦	松阪 健治	隈部 泰正	松本甚之助	本多 貞雅	高関 雅英	安藤 俊平	二階堂郁美

*登録番号順・敬称略